

会議報告書

会議の名称	平成28年度小牧市レジ袋削減協議会 総会	
主催		
日時	平成28年7月22日(金)	午後1時30分～午後2時10分
場所	小牧市役所本庁舎 301会議室	
出席者	【事業者】《敬称略》伊藤(ユニー(株)アピタ小牧店)、浅井(尾張中央農協)	
	【市民団体】林・吉田(小牧市女性の会)、平野(こまき環境市民会議)	
	横山(小牧市消費生活改善推進員会)、北出(ひまわり消費研究会)	
	内藤(小牧市小中学校PTA連絡協議会)、	
	中島(小牧市子ども会連絡協議会)	
	【行政】松岡(市民生活部長)、林(環境対策課長)	
【事務局】小林(市民生活部次長)、神谷(政策推進係長)		
山中(政策推進係主査)		
1. 報告		
・協議会参加者の変更説明		
平成28年2月フィールコーポレーションがレジ袋の有料化は続けるが協議会の脱退届が出された。		
平成27年11月からV・drugがレジ袋の無料配布になったため平成28年6月に脱退届が出された。		
平成27年11月30日にナガイスポーツと「小牧市におけるレジ袋の取組みに関する協定」を締結した。		
現在の協議会参加事業者 11事業者、13店舗		
2. 議題		
(1) 平成27年度活動報告について		
・別添資料5ページ～9ページのとおり		
【市民団体】		
・資料の8ページで平成21年度から90%か91%で辞退率はあまり変わらないが、参加事業者を増やしたら変わるのではないのか。参加事業者を増やすには広報などの掲載だけでは増えないのではないのか。		
【事務局】		
広報や商工会議所の所報「つつじ」で掲載をしているが、2年くらい前にアンケート		

トをとったが業種によってはレジ袋の有料化は難しいとの回答だった。

【市民団体】

- ・事業所に出向いて話しに行ったことがあると思うが。
- ・消費者のマイバックは随分定着してきた。事業者側でも積極的ではないところに行っても無理なのではないかと思う。

【事務局】

ドラッグストアやホームセンターは業種的にもレジ袋有料化は難しい。特に男性の習慣がないので男性がよく来るところは難しい。会社の考えもあって有料化できないところもある。

【市民団体】

- ・参加していない店舗に数字をみせて動くと変わるかもしれない。計算がめんどうで入らないということもあるのでは。
- ・レジを持っているところなら難しいということはないと思う。
- ・データ化されているから難しくはない。
- ・最近ダンボールを利用する人も多い。
- ・新しい店ができたが、そういったところに声はかけたのか。

【事務局】

このあたりではあまりない新しい店舗なので声をかけてみてもいいと思う。

(2) 平成28年度事業(案)について

- ・別添資料10ページのとおり

【市民団体】

- ・商工会議所にもこの協議会について知ってもらいたいのではないか。

【事務局】

一度話しをしに行ってみる。

【市民団体】

- ・広報の掲載は市民向けと業者向けをわけて掲載し、号も同じでなく続けて掲載すると印象に残る。
- ・以前ポスターを作製したがどうなったか。

【事務局】

在庫がある分で市内の主なスーパー等に配布する。

【会長】

- ・まとめとして、商工会議所へ声かけをする、広報のPRは市民啓発と事業者募集を2回にわけて掲載することよろしいでしょうか。